

(仮称) 行財政改革大綱の骨子 (案)

I. 行財政運営の現状と課題

1. 現状

(1) 川西市民の生活を取り巻く状況

- ・国際情勢の変化(物価高騰)
- ・パンデミック、大規模災害
- ・人口減少、少子高齢化
- ・デジタル技術の急速な進化

↓

- ・社会環境の変化に伴って市民ニーズも変化

(2) 川西市役所の行政運営を取り巻く状況

- 人 : 複雑化、増加する業務
- 物 : 建物の老朽化、インフラ等の更新
- 金 : 限られた財源と優先順位付けされた政策の実施
- 情報 : ICTリテラシーとリスク対応力の向上
- 時間 : ワークライフバランスの実現に向けた働き方の見直し

↓

- ・限られた経営資源(人、情報、物、金、時間)

2. 課題

限られた経営資源で変化するニーズを把握し、それに対応したサービスを提供

II. 行財政改革の必要性

1. 改革がめざす姿

変化の激しい時代に対応した効果的な市民サービスを提供し続ける行財政運営

2. 改革の実現に向けた取組み

- (1) 効果的な市民サービスの提供
- (2) 市民サービスを届けるまでのスピードアップ
- (3) スクラップアンドビルドの仕組み

3. 改革の実現に向けた成功要因

- (1) 新しい技術
 - ・デジタル技術、通信技術、交通運輸技術
- (2) 市民・民間の力やノウハウとの積極的な協働
 - ・市民協働
 - ・官民連携、社会課題の解決と経済成長の両立を目指す事業者
- (3) 再生可能エネルギー
 - ・公共施設の省エネ化
 - ・エネルギー高騰、供給リスクの軽減

4. 位置づけと計画期間

(1) 位置づけ

(仮称) 行財政改革大綱は、今後の本市の行財政改革の基本的方向や考え方を示す指針
改革の実施にあたっては、本大綱に基づき、年次計画としての実行計画を策定し取り組む

(2) 計画期間

大綱の計画期間は、令和6年度を起点として、令和13年度までの8カ年とする